

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R4年2月11日

事業所名 一般社団法人ハンズハンズ 未来育デイ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・課題によって分かれたり、個の成長に合わせて柔軟に移動したり工夫していると思う。	
	2 職員の配置数は適切である	4	2	・デイの職員が12月から1人増え、多少緩和されるかもしれないが1~3年の利用者が多数で目の届かない部分があると思う。	・足りないところはお互いに協力し合っていくことが必要だと思う。 ・適切ではあるが、行き届いていないと感じるときもある。十分と言えない日がある。 ・利用人数、利用メンバーに応じた職員体制を作っていきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	・建物の構造上難しいこともあるが、できるだけ安全に過ごせるよう定期的に環境を見直している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・毎月の職員会で意見交流をしている。	・何気ない会話でなるべく共有していくようにしているが、全員の職員が周知しておいた方が良いことなど共有できるようなノートやファイルがあるといいと思う。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・毎年1回無記名で評価表の記入をお願いしている。今年度は保護者全員に提出していただいた。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		・コロナ禍なので、今年度は無理だったかもしれないがメール等で結果報告や改善点についての意見交流が必要ではないか。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・オンラインで研修などがあれば受けてみたい。 ・伝達という形かもしれないが、通所している子どもの今の様子を知っておくことは大切だと思う。分からない時、参加できない時は他の職員に聞いている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		・契約時、新年度に保護者の方にアセスメントシートの記入をお願いしている。半年に1度モニタリングを行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・いつも新しく取り入れた活動を考えていると思うし、何がハマるか分からないので色々やってみることが大事だと思う。 ・しっかりと打ち合わせをしている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・職員間でアイデアを出し合い、子どもたちが楽しく参加できるよう工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		・長期休暇の中で外出の機会を設けるなど工夫している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		・ほとんど毎日小集団活動、個別活動を行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・活動内容の打ち合わせはあるが、役割分担がなく終了間際に慌てることもある。→今後は毎日のミーティングの中で、あらかじめ役割分担を決め、支援に臨みたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・送迎や添乗により、必ず行うことは難しい状況。 ・終了後にデイの職員全員集まることができず、共有するまではできていない。様子を交流することはできるときもある。 ・全員揃わないこともあるが、その日の振り返りを行い、良かった点や課題点を共有している。 ・日常的に情報交流がなされている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・活動記録の用紙に日々の子どもの様子を記入し、保護者と共有している。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		・職員会でモニタリング結果を知ることができるので、利用者が少しでも成長できる対策を考え、実行に移せる。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	・十分とは言えないことがある。(コロナ対応など) ・必要際には電話連絡や送迎時に口頭で確認をしている。		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	・現在医療的ケア児の受け入れをしていない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	・相互理解を図るよう努めている。	・以前の様子を知ること大切だと思うが、成長や時期的なもので変化することもあるので、過去にとらわれすぎない程度で、情報共有をしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	・同じ建物内の就労施設に就職する子もおり、適宜情報交流をしている。	・他施設への就労の際の情報交流は十分と言えない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	・受けていないが、日々多く一緒に過ごしている先生たちの助言などは貴重だと思う。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		・コロナウイルスにより交流は難しい状況。 ・十分とは言えない。時間が取れないこともある。 ・コロナ禍が収束したら、おたのしみ会等できょうだい児を招き、交流したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2		・機会があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・日々の活動記録や送迎時に適宜子どもの様子を報告をし、共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	・専門的な支援でなくとも、話を聞いたり施設での様子を伝える努力をしている。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時に説明を行っている。
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	・コロナウイルスにより交流は難しい。 ・保護者同士の交流の場があると良いと思う。	
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
34		定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・通信や動画は利用者の様子を知らせる良い方法で、今後も続けると良いと思う。 ・ホームページ、全体通信、動画配信などにより発信に努めている。	
35		個人情報に十分注意している	6			
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・利用カードの通信欄を活動してみえる保護者が多いので、一言添えると良い。(今もやっているが)	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	・コロナウイルスにより難しい状況。 ・招待は難しいがSNS (Youtube) で情報発信している。 ・年1回の「あくしゅの会」を開催し、地域へ情報を発信しているが、ここ2年はコロナのため中止。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			・保護者向けの評価表を見ると、保護者の方と職員で認識の違いがある。保護者の方にもわかりやすく示していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・月1回の防災訓練を行っているので、避難の仕方が自然と身につけていると思う。とにかく繰り返しが必要であると感じる。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・毎月チェックリストで確認する機会がある。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	・現在必要な児童はいない。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・入所前に打ち合わせを行っている。		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				